

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成24年11月2日

**【四半期会計期間】** 第20期第2四半期(自平成24年6月21日至平成24年9月20日)

**【会社名】** 株式会社エスティック

**【英訳名】** E S T I C C O R P O R A T I O N

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 鈴木 弘

**【本店の所在の場所】** 大阪府守口市橋波東之町二丁目5番9号

**【電話番号】** 06-6993-8855

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 伊勢嶋 勇

**【最寄りの連絡場所】** 大阪府守口市橋波東之町二丁目5番9号

**【電話番号】** 06-6993-8855

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役管理本部長 伊勢嶋 勇

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第19期 第2四半期累計期間	第20期 第2四半期累計期間	第19期
会計期間		自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日	自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日	自 平成23年3月21日 至 平成24年3月20日
売上高	(千円)	1,261,409	1,281,541	2,477,634
経常利益	(千円)	217,025	240,401	503,163
四半期(当期)純利益	(千円)	124,138	135,188	285,408
持分法を適用した場合の 投資損益	(千円)	16,040	7,919	5,476
資本金	(千円)	557,000	557,000	557,000
発行済株式総数	(株)	14,710	14,710	14,710
純資産額	(千円)	2,626,927	2,859,424	2,787,150
総資産額	(千円)	2,965,826	3,278,273	3,242,394
1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	9,129.85	9,942.50	20,990.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			4,500
自己資本比率	(%)	88.6	87.2	86.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	220,808	39,058	76,200
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	12,653	22,894	16,073
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	54,226	61,041	54,419
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	529,025	714,195	853,895

回次		第19期 第2四半期会計期間	第20期 第2四半期会計期間
会計期間		自 平成23年6月21日 至 平成23年9月20日	自 平成24年6月21日 至 平成24年9月20日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	4,824.37	6,196.44

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要に支えられ緩やかに回復基調を示しつつも、長期化する欧州債務問題や円高、それに加えて領有権問題に起因する生産活動や販売活動への影響懸念など厳しい状況が山積しております。

このような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、国内市場では第1四半期に引き続き堅調な設備投資状況で推移しておりますが、依然欧州経済不安が長期化していることなどもあり、先行きについては不透明感が払拭できない環境が継続しております。

海外市場におきましては、中国及び韓国市場における設備投資状況が昨年と比較すると多少減少傾向にあることに加え、領土問題や戦後補償問題等による対日批判が経済活動に影響を及ぼす懸念が新たに発生し、当第2四半期における業績への影響は軽微でありましたが、今後の推移を注視していく必要があります。

また、北米市場につきましては、リーマンショック以降順調な回復基調で推移しており、今後も緩やかに回復基調が継続するものと思われれます。

その結果、当第2四半期累計期間は、売上高1,281百万円(前年同四半期比1.6%増)、営業利益260百万円(前年同四半期比8.8%増)、経常利益240百万円(前年同四半期比10.8%増)、四半期純利益135百万円(前年同四半期比8.9%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産の部)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、3,278百万円と前事業年度末比35百万円の増加となりました。

これは流動資産については、現金及び預金の減少の一方、仕掛品の増加などの影響により2,480百万円と前事業年度末比19百万円の増加となり、固定資産については、797百万円と前事業年度末比16百万円の増加となったことによるものです。

#### (負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、418百万円と前事業年度末比36百万円の減少となりました。

これは主に未払法人税等が77百万円減少した一方、買掛金が35百万円増加したことなどによるものです。

#### (純資産の部)

第2四半期会計期間末における純資産合計は、2,859百万円と前事業年度末比72百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が74百万円増加したことなどによるものです。

#### (3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は714百万円となり、前事業年度末に比べて139百万円の減少となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは39百万円の支出(前年同四半期は220百万円の支出)となりました。

これは主に、税引前四半期純利益240百万円、売上債権の増加額37百万円、たな卸資産の増加額122百万円などの減少要因があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは22百万円の支出(前年同四半期は12百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出40百万円、関係会社貸付けによる支出15百万円、関係会社出資金の払込による支出2百万円などの減少要因があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは61百万円の支出(前年同四半期は54百万円の支出)となりました。

これは、配当金の支払額61百万円の減少要因があったことによるものです。

#### (4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (5)研究開発活動

当第2四半期累計期間の研究開発費の総額は、67百万円であります。

なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000
計	50,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月2日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,710	14,710	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株制度を採用しており ません。
計	14,710	14,710		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月21日～ 平成24年9月20日		14,710		557,000		639,750

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
鈴木 弘	大阪府豊中市	4,805	32.66
株式会社日伝	大阪市中央区上本町西1丁目2-16	1,400	9.51
池田 康廣	京都市北区	1,110	7.54
エスティック従業員持株会	大阪府守口市橋波東之町2丁目5-9	782	5.31
長沼商事株式会社	広島市中区袋町6番14号	700	4.75
飯田 雅次	大阪府高槻市	365	2.48
加藤 誠	愛知県西尾市	242	1.64
岩瀬 政夫	東京都足立区	179	1.21
細田 茂	岐阜県飛騨市	150	1.01
伊勢嶋 勇	大阪府寝屋川市	145	0.98
計		9,878	67.15

(注) 1 上記のほか当社所有の自己株式1,113株(7.56%)があります。

2 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、単位未満を切り捨て表示しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,113		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,597	13,597	
単元未満株式			
発行済株式総数	14,710		
総株主の議決権		13,597	

【自己株式等】

平成24年9月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社エスティック	大阪府守口市橋波東之町 2丁目5-9	1,113		1,113	7.56
計		1,113		1,113	7.56

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間までの役員の異動はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期会計期間(平成24年6月21日から平成24年9月20日まで)及び当第2四半期累計期間(平成24年3月21日から平成24年9月20日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	904,895	765,195
受取手形及び売掛金	1 998,927	1,036,601
製品	85,332	95,168
原材料	324,565	366,295
仕掛品	97,225	168,172
その他	69,700	72,737
貸倒引当金	19,429	23,622
流動資産合計	2,461,217	2,480,547
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	106,478	101,207
有形固定資産合計	519,718	514,448
無形固定資産	8,720	7,243
投資その他の資産		
その他	253,237	277,583
貸倒引当金	500	1,548
投資その他の資産合計	252,737	276,034
固定資産合計	781,177	797,726
資産合計	3,242,394	3,278,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	85,721	121,250
未払法人税等	183,000	105,855
賞与引当金	22,306	26,851
役員賞与引当金	-	10,000
その他	78,309	62,723
流動負債合計	369,337	326,680
固定負債		
退職給付引当金	85,907	92,169
固定負債合計	85,907	92,169
負債合計	455,244	418,849

	前事業年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	1,806,740	1,880,742
自己株式	217,684	217,684
株主資本合計	2,785,805	2,859,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,344	382
評価・換算差額等合計	1,344	382
純資産合計	2,787,150	2,859,424
負債純資産合計	3,242,394	3,278,273

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
売上高	1,261,409	1,281,541
売上原価	809,829	772,031
売上総利益	451,580	509,510
販売費及び一般管理費	212,064	248,988
営業利益	239,515	260,522
営業外収益		
受取利息	115	276
受取配当金	554	785
デリバティブ評価益	1,210	-
その他	494	620
営業外収益合計	2,374	1,682
営業外費用		
為替差損	24,864	20,202
その他	-	1,600
営業外費用合計	24,864	21,802
経常利益	217,025	240,401
税引前四半期純利益	217,025	240,401
法人税、住民税及び事業税	102,280	102,690
法人税等調整額	9,393	2,523
法人税等合計	92,887	105,213
四半期純利益	124,138	135,188

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	217,025	240,401
減価償却費	9,548	8,942
貸倒引当金の増減額（は減少）	5,309	5,242
賞与引当金の増減額（は減少）	5,297	4,545
役員賞与引当金の増減額（は減少）	9,000	10,000
退職給付引当金の増減額（は減少）	6,875	6,262
受取利息及び受取配当金	669	1,062
為替差損益（は益）	24,680	17,005
デリバティブ評価損益（は益）	1,210	1,600
売上債権の増減額（は増加）	257,384	37,674
たな卸資産の増減額（は増加）	101,822	122,511
仕入債務の増減額（は減少）	11,982	35,528
その他	34,985	29,399
小計	130,319	138,881
利息及び配当金の受取額	682	972
法人税等の支払額	91,171	178,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	220,808	39,058
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	40,000	40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	6,366	1,404
無形固定資産の取得による支出	4,142	790
投資有価証券の取得による支出	2,143	2,378
関係会社貸付けによる支出	-	15,600
関係会社出資金の払込による支出	-	2,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,653	22,894
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	54,226	61,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,226	61,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,680	16,705
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	312,368	139,699
現金及び現金同等物の期首残高	841,394	853,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	529,025	714,195

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)	
第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

- 1 期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が、前事業年度末日残高に含まれております。

	前事業年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月20日)
受取手形	16,099千円	

- 2 関連会社SHANGHAI ESTIC CO.,LTDの金融機関借入に対する債務保証残高

	前事業年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月20日)
SHANGHAI ESTIC CO.,LTD	39,690千円	37,140千円

上記債務保証については、当該債務保証額の50%相当額につき同関連会社の共同出資者であるUNITED FAITH(FAR EAST)LTD.を再保証者とする再保証契約を締結しております。

(四半期損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 3月21日 至 平成23年 9月20日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 3月21日 至 平成24年 9月20日)
給与手当	47,399千円	52,343千円
賞与引当金繰入額	7,149 "	10,069 "
役員賞与引当金繰入額	9,000 "	10,000 "
退職給付引当金繰入額	1,718 "	2,000 "
貸倒引当金繰入額	5,309 "	5,242 "
研究開発費	43,322 "	67,604 "

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 3月21日 至 平成23年 9月20日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 3月21日 至 平成24年 9月20日)
現金及び預金	580,025千円	765,195千円
預入期間が3か月超の定期預金	51,000 "	51,000 "
現金及び現金同等物	529,025 "	714,195 "

(株主資本等関係)

前第 2 四半期累計期間(自 平成23年 3月21日 至 平成23年 9月20日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年 6月17日 定時株主総会	普通株式	54,388	4,000	平成23年 3月20日	平成23年 6月20日	利益剰余金

2 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第 2 四半期累計期間(自 平成24年 3月21日 至 平成24年 9月20日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 6月18日 定時株主総会	普通株式	61,186	4,500	平成24年 3月20日	平成24年 6月19日	利益剰余金

2 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)及び当第2四半期累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)

当社は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具の製造・販売及び当社製品の修理・点検を主な事業とする単一セグメントで事業活動を展開しているため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
関連会社に対する投資の金額	30,000千円	30,000千円
持分法を適用した場合の投資の金額	19,404 "	38,104 "
持分法を適用した場合の投資損益の金額	16,040 "	7,919 "

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
1株当たり四半期純利益金額	9,129円85銭	9,942円50銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	124,138	135,188
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	124,138	135,188
普通株式の期中平均株式数(株)	13,597	13,597

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月2日

株式会社 エスティック  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 平岡 義則

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 笹山 直孝

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスティックの平成24年3月21日から平成25年3月20日までの第20期事業年度の第2四半期会計期間(平成24年6月21日から平成24年9月20日まで)及び第2四半期累計期間(平成24年3月21日から平成24年9月20日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスティックの平成24年9月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。